

## 保守とお手入れ

**△ 注意** 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。早めにお取り替えください。
- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
  - ・スイッチが入っているか？
  - ・ランプが切れていないか？
  - ・ランプがソケットに確実にはまっているか？

- 低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがあります。故障ではありません。

時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

### お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。  
変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ランプのガラスはこわれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行ってください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。
- ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

東京 〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目7番1号  
ショールーム TEL(03)6741-5800

東京営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号  
TEL(03)6741-2340(代表)

札幌営業所 〒060-0906 北海道札幌市東区北六条東2丁目3番6号  
TEL(011)742-1311(代表)

仙台営業所 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号  
TEL(022)227-1251(代表)

横浜営業所 〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目8番1号  
TEL(045)664-2871(代表)

名古屋営業所 〒460-0006 愛知県名古屋市中区新栄2丁目19番6号  
TEL(052)931-3223(代表)

近畿営業部 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目9番8号  
TEL(06)6258-6721(代表)

金沢営業所 〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号  
TEL(076)222-6733(代表)

高松営業所 〒760-0062 香川県高松市塙上町3丁目8番11号  
TEL(087)39-3195(代表)

広島営業所 〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号  
TEL(082)568-5371(代表)

福岡営業所 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号  
TEL(092)721-5661(代表)

宇都宮出張所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号  
TEL(028)638-1002

静岡出張所 〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号  
TEL(054) 273-5305

1108

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 取扱説明書

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。  
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。  
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

### 目次

- 1ページ：照明器具の取扱についての安全上の注意・お願い
- 2ページ：定格表、各部の名称と外形寸法、取付方法
- 3ページ：調光配線例、ランプ交換のしかた
- 4ページ：保守とお手入れ・アフターサービス

### 照明器具の取扱についての安全上の注意

#### 警告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。</li> <li>●不安定な場所では使用しないでください。器具の転倒や落下により漏電やケガの原因となります。</li> <li>●紙や布や断熱材などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災や器具の故障の原因となります。</li> <li>●器具に内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。</li> <li>●器具の隙間に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。</li> <li>●器具を造詣材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、火災、故障の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取付に不備がありますと、火災、感電、ケガの原因となります。</li> <li>●器具の取り付けは、器具質量に耐える所に取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取付に不備がありますと、感電、器具の落下、ケガの原因となります。</li> <li>●電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。接続に不備がありますと、接觸不良による火災の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実におこなってください。接続に不備がありますと、感電、火災、故障、調光不良の原因となります。</li> </ul>

#### 注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専用ランプ以外は使用しないでください。火災、器具故障の原因となることがあります。</li> <li>●電源電圧は、AC100-120V±6Vまたは、AC200-240V±6V以内で使用してください。電源電圧が低いとランプ寿命の原因となることがあります。</li> <li>●屋内用器具ですので、屋外では使用しないでください。無理に屋外で使用すると、感電、火災の原因となることがあります。</li> <li>●引火する危険性の雰囲気内（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーフィニッシュなど）で使用しないでください。爆発や火災の原因となることがあります。</li> <li>●雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電や破損の原因となることがあります。</li> <li>●酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。</li> <li>●振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。器具の落し、発火、発煙の原因となることがあります。</li> <li>●紛糾の多いところでは使用しないでください。火災、漏電、器具落下的原因となることがあります。</li> <li>●器具を被照射物に接近した位置に取り付けないでください。被照射物（面）が退色する場合があります。</li> <li>●ランプ取付け、取外しの際は、ランプ両端の口金部分を持っておこなってください。ランプが破損しケガの原因となることがあります。</li> </ul>												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ取付時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>装着図</th> <th>完全装着状態</th> <th>不完全装着状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>ランプ装着状態</th> <td>正常</td> <td>挿入不足</td> </tr> <tr> <th>ランプ点灯状態</th> <td>点灯</td> <td>点灯</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプに物をぶつけたり、荷重をかけたり、工具をつけてたりしないでください。ランプの破損や落下によるケガの原因となることがあります。</li> <li>●ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。</li> <li>●口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接觸不良による過熱、発煙の原因となることがあります。</li> <li>●点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。やけどの原因となることがあります。</li> <li>●使用済のランプは割らざるを棄棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。</li> </ul>	装着図	完全装着状態	不完全装着状態				ランプ装着状態	正常	挿入不足	ランプ点灯状態	点灯	点灯
装着図	完全装着状態	不完全装着状態											
ランプ装着状態	正常	挿入不足											
ランプ点灯状態	点灯	点灯											

### ご使用上の注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。</li> <li>●推奨調光器を必ず使用してください。</li> <li>●器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上（シームレスライン照明器具1台分の間隔以上）離してください。ランプがチラついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。</li> <li>●接続する電線は、電源ケーブルには、WFΦ1.6またはΦ2.0を使用し、調光信号線には、CPEV線Φ0.9×1.8またはΦ1.2×1.8を総配線長100m以内で使用してください。</li> <li>●器具間の電源・信号送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、100-120V入力の場合は最大25台以内、200-240V入力の場合は最大50台以内とし、他の器具は接続しないでください。</li> <li>●器具間の電源・信号送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、100-120V入力の場合は最大25台以内、200-240V入力の場合は最大50台以内とし、他の器具は接続しないでください。</li> <li>●器具間の電源・信号送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、100-120V入力の場合は最大25台以内、200-240V入力の場合は最大50台以内とし、他の器具は接続しないでください。</li> <li>●器具清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。</li> <li>●器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。</li> <li>●初めて点灯したとき、電極附近が黒くなることがあります。しばらく点灯しておくと消えます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調光下限レベルにはバラツキを生じたり、チラツキが発生する場合があります。</li> <li>●電源波形の歪みや変動があるときはランプにチラツキが発生する場合があります。</li> <li>●点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が照明器具より発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。</li> <li>●調光用照明器具は、若干のうなり（音）が生ずる場合があります。</li> <li>●特に静かな環境が要求される場所（录音スタジオや寝室など）への取付けには、あらかじめ考慮のうえで設置してください。</li> <li>●ランプ寿命未期の場合は、調光下限レベルで点滅を繰り返すことがあります。</li> <li>●そのような場合は、ランプ交換をお願いします。</li> <li>●強い風があたる場所は避けください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるチラツキの原因となることがあります。</li> <li>●点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。</li> <li>●寿命になったランプは、早めに交換してください。</li> <li>●ランプ電極の接続を確実にするため、ソケット部のワイヤーホルダーを必ずご使用ください。</li> </ul>

### お願い

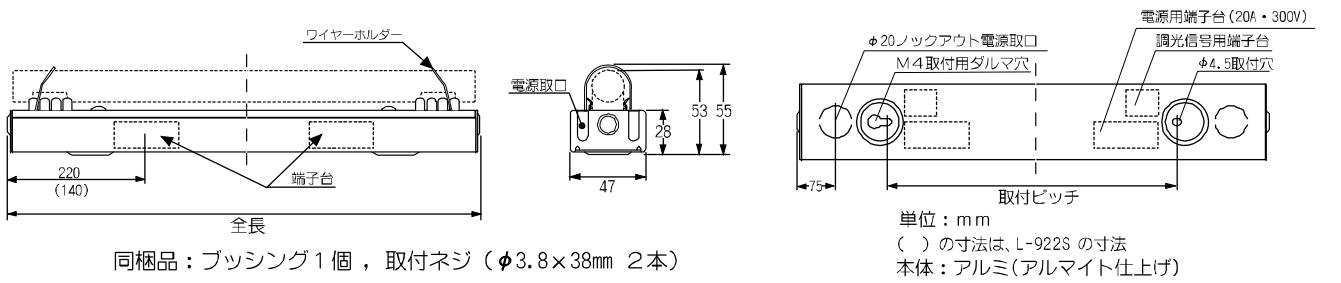
電気工事店様へ  
工事が終りましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

## 定格表

カタログNo.	型番	適合ランプ数	灯全長(mm)	取付穴ピッチ(mm)	本体質量(Kg)	入力電圧(V)	電源周波数(Hz)	入力電流(A)	消費電力(W)	ランプ電力(W)	力率
L-937S	613D2/850FP	FRT850	1	850	620	0.90	100-120 または 200-240	0.34-0.28 / 0.17-0.15	33	24	高力率
L-938S	613D2/1000FP	FRT1000	1	1000	770	1.00		0.38-0.32 / 0.19-0.17	37	29	
L-939S	613D2/1250FP	FRT1250	1	1250	1020	1.10		0.46-0.38 / 0.23-0.20	45	36	
L-940S	613D2/1500FP	FRT1500	1	1500	1270	1.30		0.53-0.44 / 0.26-0.22	52	42	

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## 各部の名称と外形寸法



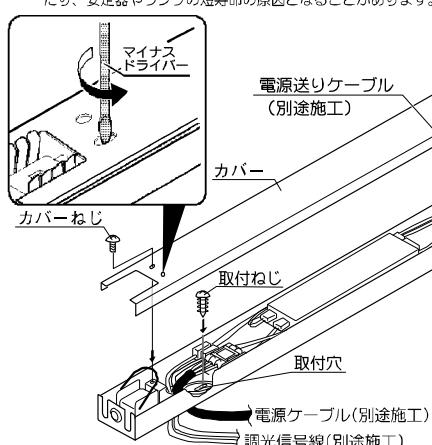
## 取付方法

### 1. 器具の取り付け

- カバー両端のカバーねじ（M4×6mm トрас小ねじ）をはずしてください。
- 器具上面部の溝にマイナスドライバーを差し込み反時計回りに回してカバーを開けてください。
- φ20ノックアウト電源取口（器具底面）に付属のブッキングを装着してください。
- 平らな面に付属の取付ねじ（Φ3.8×38mm トрасスタッビングねじ）で取付穴を利用して器具が歪まないように確実に固定してください。

\*連結する場合は、端子台の方向を揃えてください。

注】器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上（シームレスライン照明器具1台分の間隔以上）離してください。ランプがちらついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。

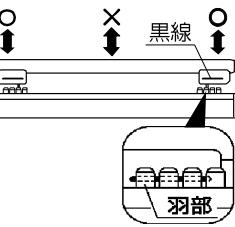


### 4. ランプの装着

- ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。

#### ・上向き取付

ランプ両端を持ってソケットにハチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。



ワイヤーホルダーをおこし、ランプの両端を持つソケットにハチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。

\*ランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。

注】ランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付かない場合やランプが破損する場合があります。

注】点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。

### 5 電源の供給

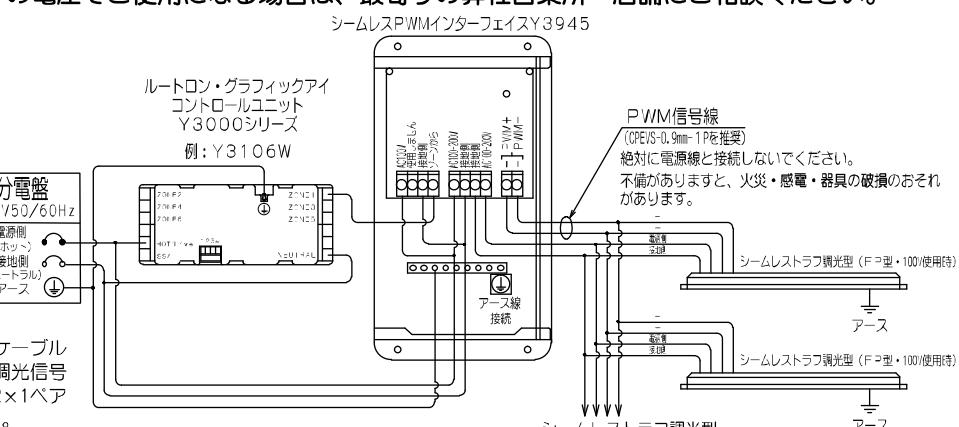
- 全ての作業が終わったら電源を入れ、ランプが、点灯・調光することを確認してください。
- シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。

注】電源を数秒間隔で「入り」-「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いつだん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。

## 調光配線例

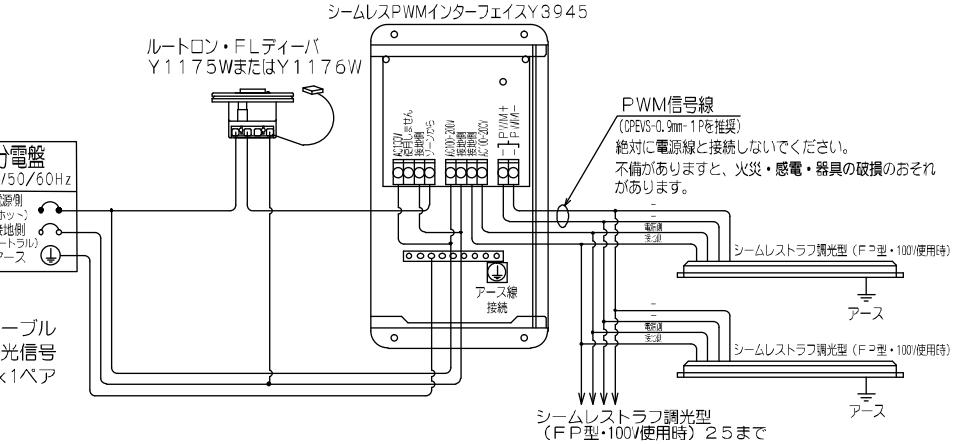
\*下記の図は、いづれも、電源入力100Vで使用する場合を示します。  
それ以外の電圧でご使用になる場合は、最寄りの弊社営業所・店舗にご相談ください。

- 例1) ルートロン・グラフィックアイ3000シリーズを合わせて、電源入力100Vで使用する場合



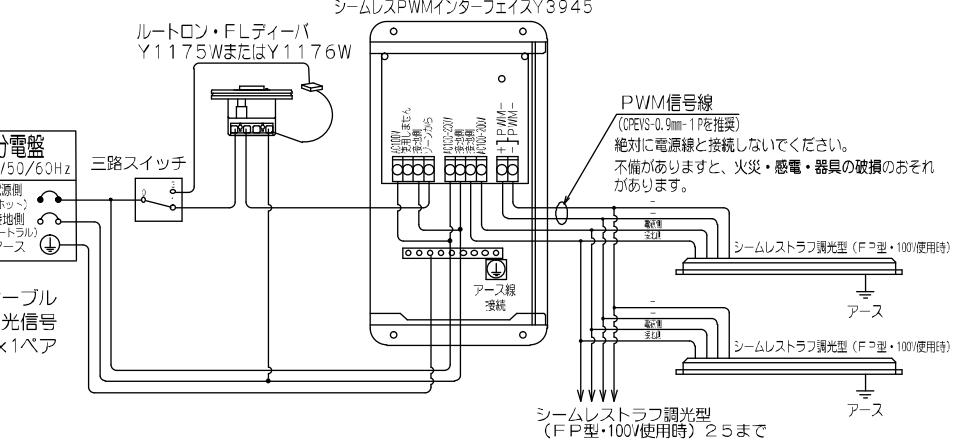
注：いづれの場合も、接続する電線は、電源ケーブルには、WVF Φ1.6 または Φ2.0を使用し、調光信号線には、CPEV線 Φ0.9×1ペアまたは Φ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。

- 例2) ルートロン・FLディーバーを、電源入力100Vで使用する場合



注：いづれの場合も、接続する電線は、電源ケーブルには、WVF Φ1.6 または Φ2.0を使用し、調光信号線には、CPEV線 Φ0.9×1ペアまたは Φ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。

- 例3) ルートロン・FLディーバーと三路スイッチを合わせて、電源入力100Vで使用する場合



注：いづれの場合も、接続する電線は、電源ケーブルには、WVF Φ1.6 または Φ2.0を使用し、調光信号線には、CPEV線 Φ0.9×1ペアまたは Φ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。

## ランプ交換のしかた

### △ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

ご注意：消灯直後のランプは高温（特に両端）になっていますので、10分間待ってから交換してください。

- 取外しかた（右図A）・・・ランプは別売です。

- ソケット部のワイヤーホルダーを外側に移動します。
- ランプをソケットから取り外します。

- 取付けかた

2ページの「部品名称と取付方法・3) ランプを取付ける」にしたがって行ってください。

注意：(右図B)に示すようにランプは「正しい装着状態」にセットしてください。とくに、片側のみの挿入による不完全な状態でも、ランプは点灯します。必ず、ランプはソケットに「正常」の状態に装着したかをご確認ください。不完全ですと、発熱による不点灯や火災の原因となります。

### （図A）ワイヤーホルダー



### （図B）ランプの正しい装着と不完全な装着状態

